

第一貨物 武藤 幸規社長

## 「取引条件改善に全力を」

### 品質向上が大前提



武藤 幸規社長

が年頭訓示の中で取引改善の必要性を語るのは珍しい。

同社は今年3月で創立77周年。創立100周年とさらにそ

雇用競争力の強化は、原資を生み出し労働環境の向上にもつながる収益・取引条件の改善と同時並行で進める必要がある。

一方、顧客に取引条件改善への理解と協力を得るためには、輸送品質が重要になる。「適正・的確な輸送品質の向上には社員一人一人の自覚が大前提」と武藤社長。

物流業界では今年に入

第一貨物（本社・山形市）は今年も、取引条件の改善に全力を挙げて取り組む。5日、都内営業本部で行った年頭訓示で武藤幸規社長が社員に向けて強調した。武藤社長

の先を見据える中、「まずは収益改善、取引条件の改善に全力で取り組む」（武藤社長）。また、特別積み合わせ事業の「根幹であるドライバーの確保を図らなければならない」。

っても、西濃運輸や福山で、収益改善、人の確保、品質向上という一連の施策が、各社員の意識と行動にかかっていると投げ掛けた。

（矢田 健一郎）